

標津新聞

発行

標津高校新聞図書委員会

発行日

7月23日（火）

第1号

局長より

新聞局ではさまざまなことを新聞にして皆さんにお伝えしていきます！！

第七十二回

標高祭

標津高校の学校祭は七月五日、六日の二日間日程で行われました。一日目は有志発表と生徒会企画がありまして、初めに行われたのが、学級旗の説明と鑑賞でした。一年生のテーマは「デイズニ

ンゲームなど生徒や先生を楽しませる企画でした。先生方のサプライズ参戦もあつて盛り上がりっていました。

「で白と黒を基調としたミッキーが描かれた旗で一年生とは思えない作品でした。二年生の学級旗のテーマは「コナン」で標津町の観光名所であるサーモンパークを背景に、探偵服を着たコナン君の旗は二年生の努力が伝わって来ました。三年生のテーマは「懐かしいもの」で小学生時代にはやっていた妖怪ウォッチのキャラクターが描かれて三年間の経験を生かした素晴らしい作品でした。

二日目は、一般公開やダンス、学年ごとの出し物などがありました。一年生は売店を出し、種類豊富で安い品が売られていました。二年生は謎解き脱出ゲームを開き、奥に進むにつれて問題のレベルが上がり解答者を苦しめました。三年生は縁日を開いていました。わなげや型抜き、ヨーヨー釣りなど若者から年配の方まで楽しむことができました。

有志発表では弾き語りやDJ、バンドなどその日に向けた練習の集大成を見ることができました。生徒会企画では、生徒会が考えた企画を行うというもので借り物、借り人競争やノーリアクショ



他にも自然科学部は、子供向けの実験やクマの毛皮、シカの骨などを展示していました。

また、三年生がフードデザインの授業で、鮭節に合う料理を考えた際に、評価の高かったザンギも「山PのザンギBO」という形で、スタンプリーをクリアした人へ無料で配っていました。味はジューシーなザンギの中に鮭節の風味が感じられるおいしいものでした。

ダンスの発表は、本来は外で行う予定でしたが、あいにく天気が悪く体育館での発表となりました。ダンスはクラスごとに個性豊かな衣装を身にまとって、それぞれクオリティの高いダンスを披露していました。

二日目の最後にクラス順位の発表があり結果は一位二年生、二位三年生、三位一年生といったものでした。今年の学校祭を経て、他学年との間にあった壁もなくなりつつあり、親睦を深めるいい機会になりました。

ポー川巡検

六月二十日（木）、二年生の総合的な探求の時間にて、ポー川史跡自然公園巡検を行いました。

まず初めに南知床標津町観光協会のガイドさんの案内のもと、歴史民俗資料館を見学しました。標津の歴史をアイヌの人たちの暮らしや、アイヌの人たちと鮭の関係などから学ぶことができました。昔と今の標津町を比較し、同じところや今とは異なる箇所を見つけ、現在の標津町との対比を感じることができました。

次に向かったのは伊茶仁カリカリウス遺跡です。伊茶仁カリカリウス遺跡では、数多くの堅穴式住居跡を見ることができ、跡からアイヌの人々の暮らしぶりや、当時の集落の様子を感じることができ、興味深かったです。

遺跡を見学した後はポー川にて、カヌー体験を行いました。カヌー体験では、一部川に落ちてしまった人が現れるなどハプニングもありましたが、非常にいい経験になりましたが、非常にいい経験になりましたが、非常にいい経験になりました。

今回のポー川史跡自然公園巡検では、標津町の歴史を知るとともに、標津町の魅力を再発見することができ、貴重な体験となりました。

野付巡検

六月十三日、一年生は野付半島に訪れました。標津町内は霧に覆われていて、天気が心配でしたが、野付半島は霧もなく晴天でした。最初は野付半島の先端まで歩きました。その道中、ロシア語で表記されたゴミが多く落ちていました。そのほかにも鹿の骨などがあつて自然の猛威を肌で感じることもできました。最後にネイチャーセンターの遊歩道を歩きました。ラムサール条約の登録地ということもあって、ゴミが一つも落ちていませんでした。



日本人の国民性の良さが感じられました。さすが日本人。

